

新潟県立中央病院循環器内科は後期研修医を募集いたします

患者増加のため、循環器内科の経験を積みながら診療を助けていただける若い医師を募集いたします。後期研修医募集としていますが、6～7年目までの医師も歓迎です。それ以上の方でも相談に応じさせていただきたいと思っております
勤務開始はお話し合いにより、いつからでも可能です。4月からでないといけないことはありません。

当院の特徴

当院は診療圏人口約30万人の総合病院です。循環器内科、心臓外科をはじめ、ほぼすべての科が揃っております。救急隊からの信頼も厚く、年間約4000人以上の患者が救急車で搬送されます。詳細はホームページからご覧いただけます。[\(http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/\)](http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/)

循環器内科の特徴

当科は今年度6人体制で診療を行っています。ホームページに各医師の卒年など載せていますが、診療実績についてはやや古いので、最新のものを資料Aとして最後の方に載せておきます。<http://www.cent-hosp.pref.niigata.jp/shinryou/junkanki.html>

当科の特徴は以下の通りとなっています。

1 多くの学会の認定施設

当科が各学会・機構から施設認定されている機能には以下のようなものがあります。

- ・日本内科学会教育研修施設
- ・日本循環器学会教育研修施設
- ・日本心血管インターベンション学会（CVIT）研修施設
- ・日本不整脈学会研修施設
- ・ICD/CRTD 植え込み認定施設
- ・ロータブレード施行認定施設
- ・レーザーアブレーション（エキシマレーザー）施行認定施設

その他、心臓リハビリテーションも行っており、また来年度日本超音波学会教育認定施設を

申請予定です。心臓リハビリの指導医取得を希望される方、超音波専門医取得を希望される方も応援いたします。今の時代、認定医や専門医取得は必須と考えていますので、可能な限り取得をバックアップいたします。

2 多くの患者たくさんの経験

当院は診療圏内では実質3次救急を主に担当しているため、さまざまな重症患者の治療を経験することができます。むろん軽～中症患者も多く来院されます。しかしご心配なく、燃え尽きてしまうほど多くの患者を担当させるつもりはありません。目安としては普段4～7人、冬場はもう少し増える可能性があります。むろん希望があればもっと担当可能です。

3 循環器疾患の診療に際し さまざまな診断機器・デバイスに対応

当科では冠動脈 CT、心臓 MRIなどを積極的に利用して正確な診断に努めています。また PCI 関連でいうとロータブレード・レーザー認定施設です。不整脈関連では電気生理検査・アブレーションも行っており ICD・CRT も植え込みを行っています。若いうちからさまざまな診断機器・デバイスの適応と限界を知ることはとても大切と思っています。しかし実際に患者を担当し診断や手技に関わらないと、これらを実感として知ることは難しいと思います。当科ではそれが可能です。

4 若い先生が多くの経験をつめるように配慮

例えば PCI は担当医がファーストタッチすることとなっており、ペースメーカー植え込み等もなるべく担当医が手技を完遂するようにサポートしています。資料 B に当科4年目医師の最近3ヶ月の担当手技数を載せています、ご参照ください。

ただし明らかに実力と難易度が一致しない手技(例えば PCI 初級者の CTO-PCI、EPS が独立施行できない時期の ablation など)に関しては助手として関わることもあります。

5 勤務の on/off が明確

当科は「平日はしっかり働き週末は助けあう」という意識が徹底しています。週末について、電話対応のみ主治医がしていますが、電話対応だけで解決しない場合はその週末の呼び出し当番医(ファーストコール)が病院に出向いて必要な指示出しや処置を行う、としております。週末ファーストコールの頻度は3週末に1回です。言い換えれば、1週末ファーストコールをするとその後の2週末は全くのフリーです。重症患者を担当していてもこれは変わりません。制度としての決め事なので気兼ねなくフリーな時間を楽しめます。金曜の夕方から月曜朝までの制度なので実家に帰ってゆっくりすることも可能です。また週末ファーストコールにあたっては全く呼び出されないこともしばしばです。ファーストコールだけでは対応困難な場合は、いつでもセカンドコール(卒年早い医師が担当)を呼ぶことができます。※当番頻度はメンバー数によって決まりますので、先生方が来て頂ければ1週末ファース

トコール 3 週末フリーも全く夢ではありません。

あと休み関係では、夏休みは連続 9 日間可能、年休(有給休暇)は病院全体として取得を勧め
ています。学会参加は年休を使う必要ありません。

6 心臓外科と良好な関係

当科は心臓外科と良好な関係を保っています。担当患者が CABG となった時など手術見学
していただくことは気軽に可能です。また緊急対応もしっかりしていただいております。

7 最後に

当院がある新潟県上越市は田舎ですが、北陸新幹線の開通で上越妙高駅から東京駅までは 1
時間 40 分で行くことができます。また田舎である故に、海水浴場、スキー場はまさにすぐ
そこにあります。新潟県でも隣接の長野県でも登山を満喫できます。東京から直通、自然が
いっぱいといった理由で最近に移住者も増えているそうです。

先生方に一生上越で暮らせとは言いません(もちろんそうなってくれば大変嬉しいです)
が、若いうちに何年かを上越で過ごしてみませんか。その間の医師としての充実について、
それを達成する環境が当科にはあると考えています。最低限の常識と、向上心、やる気を持
った医師は仲間として迎え、必ずや一回り以上大きくして送り出します。また先生方を育て
ることで当科も当院もレベルアップできるものと確信しております。

以上、最後まで読んでいただきありがとうございます。最後の方に、資料 C として当科の
写真を載せていますので、そちらもご覧下さい。

【 質問や問い合わせは下記まで 】

メールは H8 卒の堀崎に届きます。「医師募集について」など、それとわかるような件名を
お願いします。

「もっと詳しい情報が欲しい」

「カテまたは ablation を中心にした勤務が可能か知りたい」

「平日夜の拘束についても教えて欲しい」

「若い先生の話が直接聞きたいので連絡先を教えてほしい」

など、なんでも可です。秘密厳守いたします。匿名も可ですが、その場合お答えできる範囲
がやや狭くなるかもしれません。

【資料 A】

診療実績(最近の1年間、2014.7.1～2015.6.30)

PCI(うち緊急) 206(30)

Ablation 20

PM implantation 46

ICD/CRT(D) 6

【資料 B】

今年度から勤務している4年目医師の症例経験数(3ヶ月間、2015.4.1～2015.6.30)

CAG 31 (単純計算で年間124)

PCI 20 (同80)

PM implantation 5 (同20)

【資料 C】

① 最近の飲み会の写真 (向かって右から小川部長、川合医師、1年目研修医、撮影堀崎) 月に1～2回ですが自由参加の飲み会があります。若い先生方がなにか困っていないか、何を一番やりたいと思っているか、などをフランクな席で確認します。ちなみに責任者の小川部長はやる気には必ず応えてくれるタイプで、写真から想像するよりずっと優しい方です。



② 緊急カテ中の写真、TIMI3 となりホッとした場面(向かって右から川合医師、渡辺医師、1 年目研修医、患者の承諾を得て撮影しています)

カテ装置はシーメンスのフラットパネル(パイプライン)です。他にも他科と共用の血管造影室があり、緊急時は並列進行可能な体制です。この症例も 4 年目の川合医師がカテのエンゲージ、ワイヤー・バルーン操作など全て行っています。川合医師は充実感で目が輝いています、特に左目が。

